

2019年度 学部新入生のみなさんへ

来る2019年4月9日(火)～4月11日(木)の学生定期健康診断において、学部新入生を対象に、下記の多施設共同研究を実施します。なにとぞご協力のほど、お願い致します。

保健管理センター長 荒井 宏司

「大学生の体組成、筋力、食習慣、身体活動に関する実態調査  
－若年者におけるサルコペニアの検討－」

本研究へのご協力のお願い

研究責任者: 京都工芸繊維大学 保健管理センター  
センター長、教授 荒井 宏司

【研究目的】

日本は世界でもトップクラスの長寿国として知られるようになってきました。一方、高齢者が増加する中で、要介護(要支援)認定高齢者は600万人に達し、今後さらに増加することが予想されています。要介護(要支援)となる原因として、骨折・転倒が全体の1割以上を占めています。サルコペニア(骨格筋量減少と筋力低下・運動機能低下)は、骨折・転倒の主疾病の一つとして注目されています。

一方、近年のダイエットブームなどにより、若年者の中で「やせ」の割合が増えてきていることが問題になっています。極端なカロリー制限、不規則な食生活、運動習慣の減少は、若年者の体組成変化(体脂肪は増加し、筋肉量は減少する)をもたらし、若年者においてもサルコペニアを合併する恐れがあります。また、筋肉は、体を支え転倒を防止するだけでなく、摂取したグルコースを処理する重要な臓器です。そのため、筋肉量が減少することで、糖尿病になる可能性が高くなることも報告されています。

以上のことから、肉体的にも成長過程にある大学生において、体組成、筋力、食生活、身体活動の状況を把握することは、極めて重要なことと考えられます。本研究の目的は、若年者におけるサルコペニア有病率とその特徴を明らかにすることです。

【対象者】

平成31年度新入生で健康診断を受診する者

【利用させていただく情報】

健康診断で評価される下記項目

- (問診) 既往歴、家族歴(糖尿病、高血圧、脂質異常症、癌、その他について)
- (身体計測) 身長、体重、体格指数(BMI, body mass index)
- (血圧・脈拍) 収縮期血圧、拡張期血圧、脈拍
- (体組成計測) 体脂肪率、四肢骨格筋量、骨格筋指数(SMI, skeletal mass index)
- (筋力測定) 握力

(質問紙調査) 栄養調査 (BDHQ, Brief-type self-administered Diet History Questionnaire)  
活動調査 (IPAQ, International physical activity questionnaire)

**【個人情報について】**

健康診断を受診した学生の個人情報は厳重に管理します。本研究成果を学会、研究会、論文などで発表することがありますが、個人が特定できるような情報は厳重に秘匿され、公開されることはありません。

**【留意事項】**

本研究は、健康診断で得られる情報を二次利用する観察研究です。

本研究は、京都工芸繊維大学、滋賀大学、京都大学、国立病院機構京都医療センターによる共同研究であり、倫理委員会で審査を受け承認されております。

本研究に関してご質問がある方や本研究への協力を希望されない方は、平日の9時から17時の間に下記までご連絡をお願い申し上げます。なお、本研究への協力を希望されない場合も不利益をこうむることは一切ありません。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

**【問合せ先】**

〒606-8585

京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町

国立大学法人 京都工芸繊維大学 保健管理センター

センター長、教授 荒井 宏司

電話:075-724-7173